



EPOMILD

エポマイルド

弱溶剤形自己架橋エポキシ樹脂さび止め塗料

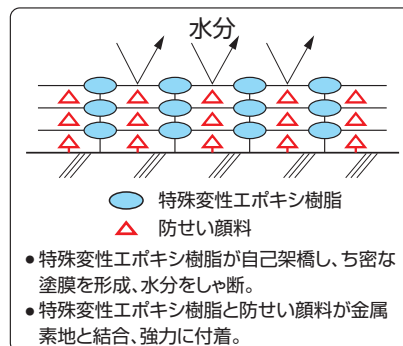
- 高防さび
- 速乾
- 幅広い適応
- 低臭
- 一液
- 無希釈
- 鉛・クロムフリー
- F☆☆☆☆

エポマイルド

エポマイルドは、塗料用シンナー可溶の特性を生かした使いやすい、速乾性のエポキシさび止めです。

特殊変性エポキシ樹脂の特性

- **付着性**
素材および旧塗膜に対し、強力な付着性を発揮します。
- **低臭**
塗料用シンナー可溶タイプのため、臭気はマイルドで優しいです。
- **作業性**
はけ塗り作業性は、SOP並みで、塗りやすいです。
- **旧塗膜適合性**
活膜の旧塗膜をリフティング・溶解させることなく、安心して塗装できます。



防さび顔料の特性

- **防せい性**
塩水噴霧およびサイクル腐食性試験において、優れた防せい力を示します。
- **安全性**
鉛・クロムなど有害な防せい顔料を含みませんので、安全性に優れます。



●用途

建築物：鉄鋼構造物・空調機器・階段手摺
屋根・ダクト

プラント：各種タンク（外面）・パイプ類

鉄塔：鉄塔・看板
(シャッター・歩行部位への塗装は避けてください。)

その他の特性

- **無希釈**
無希釈で塗装ができ、膜厚管理が容易です。
- **上塗適合性**
各種の上塗塗料が塗装可能です。上塗りの美しいつや・仕上がりが得られます。
- **乾燥性**
速乾性ですので、3時間(23℃)のインターバルで上塗りができます。
- **一液・取扱い**
一液の指定可燃物(非危険物)ですから保管・取扱い面で有利です。
- **F☆☆☆☆**
ホルムアルデヒド放散等級分類は規制対象外です。
- **JPMS 28 相当品**
JPMS 28 1液形変性エポキシ樹脂塗料の品質規格(社内試験)に合格

●色相



*ルーフブラック・ルーフブラウンは滑らかな表面により、乱反射を防止した、上塗りの艶向上タイプです。

●適用素地

鉄骨・鋼板・亜鉛鉄板(溶融亜鉛めっき電気亜鉛めっき)・カラータンク
ガルバリウム鋼板・ステンレス鋼板
アルミニウム板
(どぶ漬け溶融亜鉛めっき鋼材、塩化ビニル被覆鋼板には適用できません)

●適用旧塗膜

合成樹脂調合ペイント・アクリルアルキド樹脂塗料・ポリウレタン樹脂塗料・塩化ゴム樹脂塗料
(ふっ素樹脂塗料には適用できません)

●適用上塗塗料

| 系統 | 商品名 |
|------|---------------|
| 弱溶剤系 | ワイドエポーレシリーズ |
| | ワイドシリーズ |
| | 1液ワイドウォールシリーズ |
| | 1液ワイドシリーズ |
| | アクリルバーン |
| | エスコートECO |
| | エスコートホープDX |
| | ルーフバリアシリーズ |
| | アクリルエポーレ |
| | サンルーフ |
| 水系 | ユニシリーズ |
| | 水性無機コートSi |
| | 水性ベスコロSi |

※用途に応じて上塗り塗料を選定してください。

性能比較表

| 項目 | 塗料 | | | 試験方法 |
|---------------|--------|---------------------|------------------------|---|
| | エポマイルド | 一液形エポキシ樹脂 さび止め塗料 | 二液形高分子エポキシ 樹脂さび止め塗料 | |
| 塗装作業性 | ○ | □ | □ | JIS K 5674 7.6によるはけ塗り |
| 表面乾燥性(h) | 5℃ | 2 | 硬化せず | JIS K 5674 7.7による |
| | 23℃ | 1 | 2 | 100μmアプリケーション塗布 |
| 塗膜の外観 | 異常なし | 異常なし | 異常なし | JIS K 5674 7.8による |
| 光沢(60度) | 4.0 | 4.0 | 10.0 | 100μmガラス板塗布1日後測定 |
| 上塗り適合性 | 異常なし | 異常なし | 異常なし | JIS K 5674 7.9による |
| 耐屈曲性 | 異常なし | われ発生 | 異常なし | JIS K 5674 7.10によるφ6mm |
| 耐衝撃性 | 異常なし | われ発生 | 異常なし | JIS K 5600-5-3デュボシ式による 500g 200mm |
| 付着安定性 | 異常なし | 異常なし | 異常なし | JIS K 5674 7.11による |
| 耐水性 | 異常なし | 異常なし | 異常なし | JIS K 5600-6-2による 素材軟鋼板 浸漬144時間 |
| 耐中性塩水 噴霧試験 | 軟鋼板 | ○ | □-△ | JIS K 5600-7-1による 塩水噴霧 240時間 上塗り:1液ワイドウレタン |
| | 亜鉛鉄板 | ○ | ○ | |
| | さび面 | ○-□ | △ | |
| サイクル腐食性 | 異常なし | 異常なし | 異常なし | JIS K 5674 7.12による36サイクル |
| 加熱残分 (%) | 68.0 | 66.0 | 78.0 | JIS K 5674 7.13による |
| 塗膜中の鉛 (%) | 0.06以下 | 0.06以下 | 0.06以下 | JIS K 5674 7.14による(0.06以下) |
| 塗膜中のクロム (%) | 0.03以下 | 0.03以下 | 0.03以下 | JIS K 5674 7.15による(0.03以下) |
| 防せい性 (%) | 異常なし | 異常なし | 異常なし | JIS K 5674 7.16による 屋外暴露24ヵ月 |

JIS K 5674 鉛・クロムフリーさび止めペイント等に準じる試験

| | | | | |
|----------|------------|---------|--------------|--------------------------|
| 臭気 | ○→□ | × | × | 臭覚による判定 |
| 希釈剤 | (塗料用シンナー) | 塗料用シンナー | エポキシシンナー | |
| 希釈率 | 0% | 20% | 10% | |
| 膜厚(μm) | 40 | 21 | 35 | 0.14kg/m ² 塗付 |
| たるみ性(μm) | 175 | 150 | 200 | 塗装時の粘度 |
| 旧塗膜適合性 | ○ | □ | □ | 合成樹脂調合ペイント塗装2日後にさび止め塗装 |
| 消防火表示 | 危険物分類(第四類) | 指定可燃物 | 第二石油類 | ()内は、硬化剤の表示 |
| | 危険等級 | 可燃性液体類 | 危険等級Ⅲ | |
| | 有機溶剤区分 | 第三種 | 第三種 | |
| | | | 第一石油類(第一石油類) | |
| | | | 危険等級Ⅱ(危険等級Ⅱ) | |
| | | | 第二種(第二種) | |

優←○□△×→劣

塗装基準

| 項目 | 内容 | |
|-----------|-----|---------------|
| 乾燥時間 | 5℃ | 指触40分、硬化4時間 |
| | 23℃ | 指触30分、硬化2時間 |
| | 30℃ | 指触20分、硬化1.5時間 |
| ※ 塗装間隔 | 5℃ | 8時間以上 |
| | 23℃ | 3時間以上 |
| | 30℃ | 2時間以上 |

※塗装間隔は、弱溶剤形塗料が塗装可能な時間です。(屋根塗装の場合は異なります。)

| 項目 | 内容 |
|-------|-------------------------------|
| 標準塗付量 | 0.12~0.16kg/m ² /回 |
| 標準膜厚 | 32~45μm |
| 塗装方法 | はけ、ローラー、エアレス |
| 希釈 | なし |

容量

16kg・4kg

(エクセルブラウン・セピアグリーン・ルーフブラック・ルーフブラウンは16kgのみ)

標準塗装仕様(オール弱溶剤形塗料による塗装仕様)

● 鉄鋼構造物・ダクト・パイプ……ポリウレタン仕上げ

■ 素地：鉄鋼面・ステンレス鋼面

| 工程 | 塗料 | 調 合(重量比) | 標準塗付量(kg/㎡/回) | 塗回数 | 塗装間隔(23℃) | 塗装方法 |
|------|--|-------------|---------------|-----|---------------|-----------------------|
| 素地調整 | ● ディスクサンダー、ワイヤホイールなどの動力工具を主体とし、スクレーパー、ワイヤブラシ、研磨布などの手工具を併用して、さび、黒皮、油分、付着物などを除去する。(JASS18鉄面素地調整2種) | | | | | |
| 下塗り | エポマイルド | 100 | 0.12~0.16 | 1~2 | 3時間以上 | はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り |
| 上塗り | ワイドウレタン 塗料用シンナー | 100 5~20 | 0.12~0.16 | 2 | 3時間以上 7日以内 | はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り |

- 上塗りには、ワイドエポレシリーズ、ワイドシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ、1液ワイドシリーズ、アクリルバラン、エスコートECO、エスコートホープDX、ユニシリーズ、水性無機コートSiの塗装も可能です。
- 強溶剤形塗料のエポレを塗装する場合、被塗面が素地又は、耐溶剤性が良い既存塗膜面であることを確認してください。塗装間隔を16時間以上(23℃)取ってください。
- ユニシリーズ、水性無機コートSiを塗装する場合は、塗装間隔を16時間以上(23℃)取ってください。

● 屋根……エポキシ・シリコン変性樹脂仕上げ

■ 素地：亜鉛鉄板・カラータン・ガルバリウム鋼板

| 工程 | 塗料 | 調 合(重量比) | 標準塗付量(kg/㎡/回) | 塗回数 | 塗装間隔(23℃) | 塗装方法 |
|------|---|-------------|---------------|-----|---------------------------------|-----------------------|
| 素地調整 | ● 素地のさび、劣化塗膜、汚れ、付着物を皮すき、ワイヤブラシ、研磨布、サンダーなどを用いて除去する。 油類は、溶剤がきで除去する。または、高圧水洗で除去、清掃する。 ● 素地は十分に乾燥させる。 | | | | | |
| 下塗り | エポマイルド | 100 | 0.12~0.16 | 1~2 | 16時間以上 | はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り |
| 上塗り | ワイドエポレSi 塗料用シンナー | 100 0~20 | 0.12~0.16 | 2 | (工 程 内) 16時間以上 (最終養生) 24時間以上 | はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り |

- 上塗りには、ワイドエポレシリーズ、ルーパリアシリーズ、ワイドシリコン、ワイドルーフ、アクリルエポレ、サンルーフ、1液ワイドシリコン、水性ベスコロSiの塗装も可能です。本仕様の塗装間隔時間(16時間以上(23℃))は厳守してください。
- 強溶剤形塗料のエポレを塗装する場合、被塗面が素地又は、耐溶剤性が良い既存塗膜であることを確認してください。
- エアレス条件(一般建築塗料用エアレス機/一次圧0.4~0.5MPa、二次圧12~20MPa、吐出量0.6L/min以上)

(注) ■ さび落としは、金属素地が露出するまで、ケレンしてください。

■ エポマイルドの塗付量が少ないと、防せい性及び付着性が低下しますので、必ず標準塗付量(0.12~0.16kg/㎡)を塗装して膜厚(32~45μm)を確保してください。エッジ部、凹凸面(40μm以上)などは増し塗りしてください。

■ 塗付量は、標準的な数値です。素地の形状や状態、塗装方法、環境などによって増減することがあります。

■ 公共建築(改修)工事標準仕様書における亜鉛めっき鋼面さび止め塗料塗りのJPMS28 1液形変性エポキシ樹脂さび止めペイントとして使用する場合は、標準塗付量0.10kg/㎡/回、標準膜厚30μmになります。

塗装上の注意事項

- 気温5℃以下、湿度85%以上の場合は、塗装を避けてください。
- 降雨・降雪・結露の恐れがある場合は、塗装を避けてください。
- モルタル等のアルカリ性素材、軟質の被覆鋼板への塗装は避けてください。
- 使用前に十分かくはんし、内容物を均一にしてから塗装してください。
- 粘度調整が必要な場合は、塗料用シンナーをご使用ください。尚、希釈は5%以内としてください。
- 過剰の希釈は、乾燥が遅れ、たるみを生じますので注意してください。
- 芳香族系溶剤などで希釈しますと旧塗膜を侵す場合がありますので注意してください。
- 塗装間隔は所定の時間を厳守してください。硬化が不十分な場合、再溶解する場合があります。
- エアレス塗装の場合、ミスト汚染防止には、十分配慮してください。
- 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- 使用後の塗装器具は、できるだけ早く塗料用シンナーで洗浄してください。

- 臭いは、食品・飲食器・衣類などに、うつる場合がありますので、作業場所から遠ざけるかまたは、養生するなど、十分に注意してください。
- 容器から取り出すときは、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ際には、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。特に下記場所の保管は避けてください。
・ 雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など
- 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器または、粉末消火器を用い初期消火をしてください。
- 捨てる時は、産業廃棄物として処分してください。
- 詳細な内容が必要ときには、安全データシート(SDS)をご参照ください。
- カタログに記載されていない素地や塗装仕様で塗装される場合は、塗膜欠陥を起すことがありますので、使用前に最寄りの営業所にお問い合わせください。

取扱い上の注意事項

- 引火性の液体ですので、火気のあるところでは使用しないでください。
- 吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますから、換気をよくし、蒸気・スプレーミストを吸い込まないよう必ず保護具を着用してください。
- 取扱作業場所には、局所換気装置を設けてください。
- 取扱い中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
・ 有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど。



営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4 ☎059-397-2187 FAX059-397-6191
研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1 ☎059-346-1116 FAX059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255
大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621
九州支店 ☎092-938-0071

取扱店